



目次

- ◆ブロックからのお知らせ..... 1
 - 第23回日本野鳥の会中国四国ブロック会議（オンライン）報告..... 1
- ◆事務局からのお知らせなど..... 3

- 会員数..... 3
- 令和4(2022)年度連携団体全国総会の開催について 4

◆ブロックからのお知らせ

■第23回日本野鳥の会中国四国ブロック会議（オンライン）報告

【日時】2022年1月29日（土）
午後1時30分～4時30分（Zoom利用のオンライン開催）

【担当支部】：NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部

【司会進行】：鳥取県支部・津森宏（事務局）

【出席者】：計35名（敬称略）

- 鳥取県支部 津森、戸川、谷口、田中、吉田、山中、松本、東森
- 島根県支部 田原、野崎、秦、佐藤
- 岡山県支部 丸山、古田、成田、渡辺、北村
- 広島県支部 日比野、倉岡、穂井田、茶村
- 山口県支部 白石
- 香川県支部 矢本、大川
- 徳島県支部 三宅、東條、高井
- 高知支部 西村
- 愛媛 松田、秋山、井戸、上沖
- 財団 狩野（副理事長）、田尻（自然保護室室長）、堀本（普及室）

【議事】

冒頭、津森（司会）より、2020年春に大山でのブロック交流会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のために延期し、引き続き集合型の開催が難しい中、今回、オンラインでの開催を決めたこと、また、難しい議論ではなく、顔見せや情報交換に主眼を置いて進行したい旨が述べられた。

＜各支部、本部から参加者を紹介＞

各団体の代表者が参加者を紹介し、該当参加者はカメラ・マイクをオンにして一言挨拶をした。

＜各支部から役員、コロナ対応、活動状況等の説明＞

各支部5分程度で、以下の報告があった。なお内容には、質疑応答を受けて補足された点を含む。

●鳥取県支部（事務局・津森）

支部長、副支部長の変更はなし。役員は計25名でその内5名が女性、男女を半々にすることを理想としており、女性に役員をお願いするときは、まずリーダー補佐や調査活動にお誘いするなどし、少しずつ支部の活動を担っていただけるようにしている。

コロナ対応として、探鳥会を2020年3月～5月は中止にし、2020年5月17日に新しい様式の探鳥会を試行、2020年6月以降は、すべて事前申込制にするなど感染症対策を施した上で再開している。隔月で開催している役員会は、2020年8月からオンラインとのハイブリッドで開催している。NPO法人であることによるコロナの影響は特になく、定款上、総会も会員の10分の1以上の出席者があれば開会できる。

また2021年5月には、目の見えない・見えにくい方を対象としたバリアフリー探鳥会「バードリスリング2021鳥取東部」を開催し、詳細は支部報「銀杏羽2021年9・10月号 No.177」にて報告している。

2021年に本部の「ツバメの子育て応援事業」に協力し、鳥取県内で3ヶ所に感謝状を贈呈し、贈呈先のひとつである、コシアカツバメが営巣する岸本中学校では学校からの依頼でツバメの授業も行った。

●島根県支部（事務局・秦）

コロナ対応として、2020年4月～6月の探鳥会を6回中止し、2020年度は計24回を開催した。現在、まん延防止等重点措置が島根県にも発令されているため2月20日までの3回の探鳥会を中止することにしている。

会員数の増加に力を入れており、200名を目標にしている。会員数はここ3年で153名→193名と40名増えており、40名の内訳は、入会者55名、退会者14名で、55名のうちお試し会員から正会員となった方が17名で、3割強に及んでいる。3年前にお試し会員制度を作ったこと、また初心者向け探鳥会を中心に探鳥会の数を増やしていることの効果だと考えている。

その他、2021年4月から年会費の500円値上げを実施、また島根県のカワウ調査（15ヶ所）に取り組んでいる。

●岡山県支部（支部長・丸山）

会員数は2019年509名、2020年509名、2021年513名と横ばいで推移。

コロナ対策として、探鳥会は、緊急事態宣言や感染状況に応じて、中止にしたり再開したりしている。幹事会は2020年5月以降、感染状況が悪化した時期にはオンライン開催をしている。

その他、2019年10月、2020年10月にブッポウソウの巣箱清掃を予定通り実施、2020年7月から毎週、オンラインの交流会を実施、本部の「ツバメの子育て応援事業」への協力、イヌワシの狩り場で計画されている大規模風力発電所（津山市五輪原、鏡野町大空山）への対応などを行った。

●広島県支部（日比野）

2021年2月の支部長逝去により代行（日比野）をたてて運営していたが、2022年1月末締切の書面総会により茶村が支部長に就任する。

非会員の探鳥会参加費を400円（これまでは会員、非会員ともに200円）に値上げをした。なお現在はコロナ対策として探鳥会参加者を会員および同居家族に限定しているため、徴収開始はコロナ終息後となる予定。

保護活動として、本部と連絡を取りながら、県内の風力計画（4,300kW×36基）に対応、調査活動として、広島県鳥類目録への対応や、シギ・チドリ、ガンカモ調査、カワウモニタリングなどを実施。

●山口県支部（事務局・白石）

2020年度より事務局長が開作から白石に変更となった。

山口湾のラムサール条約登録湿地を目指し、県や国の鳥獣保護区とするところから取り組んでいる。

これまで探鳥会開催の判断はリーダーに任せていたが、1月9日に山口県にまん延防止等重点措置が適用されたことから、県支部として全面中止の方針を初めて出した。

今年はHPを開設予定であり、これで中国四国ブロック所属の支部は全てHPを持つことになる。

●香川県支部（矢本）

2020年度より支部長が矢本から川南に変更となった。役員の高齢化を危惧している。

コロナ対応として、緊急事態宣言が発令されたときには探鳥会を中止とし、それ以外は感染症対策を施した上で開催している。役員会はオンラインで月に1回開催。

また、支部が協力していた香川県のレッドデータブックの見直しが終わって2021年3月から製本配布が開始した他、鳥獣保護区での鳥類調査やコアジサシの繁殖保護に取り組んでいる。

●徳島県支部（高井）

コロナ対応として、緊急事態宣言など人流の抑制が求められているときや公的施設の閉鎖時には探鳥会を中止しており、これまで2020年3月～6月、2021年5月の探鳥会を中止とした。開催時にはマスク着用等の感染症対策を施して運営している。

自然保護活動として、複数の風力発電事業への対応に取り組んでおり、その内、天神丸でオリックスが計画していた事業は中止となった。中止の要因は、複数の自然保護団体や地元からの反対が強かったためと思われる。

啓発活動としては、2021年に4年目となる地元ギャラリーでの写真展を開催し、8月～9月に女性会員から募集した作品を展示した。写真展をマナーの普及や、発表の場を提供することによる人材発掘の場とも考えており、次回は5月の愛鳥週間に開催を予定している。

●高知支部（支部長・西村）

2021年度の探鳥会は、9月にまん延防止等重点措置が高知市に適用された際に高知市での開催を中止したが、それ以外は通常通りの開催で、その他、室内での活動を控え、総会は書面で行っている。探鳥会の開催案内は、支部報と支部HPのみに掲載し、地元紙等での広報は、現在も控えている。

ブッポウソウの巣箱を設置しており、昨年度から傷んだ巣箱が見られるようになったため、岡山県支部からもアドバイスをいただきながら巣箱の修繕再架設も行った。

またカワウの調査を内水面漁業者からの委託で行っている。

●愛媛（代表・松田）

役員8名に変更はなし。役員会は毎月開催しており、コロナの前から継続して対面とリモートを組み合わせたかたちで行っている。

コロナ対策として、探鳥会は会報とHPのみで広報しており、新聞等への掲載は控えている。

保全活動として、ナベツル・マナツルが西条市と西予市に飛来しており、越冬するか見守っている。

また、ブッポウソウ巣箱の設置やコアジサシの保全事業へ取り組んでいる他、本部の「ツバメの子育て応援事業」へ協力し、ローソンとタクシー会社2社の計3か所に感謝状を贈呈した。

支部HPでは、愛媛県内の生息状況把握のため、野鳥情報記入フォームで野鳥情報を蓄積している。

<本部からの連絡事項>

以下の報告があった。

●普及室（堀本）

2022年度「ツバメの子育て応援事業」について、1月18日付で支部事務局宛に参加依頼をお送りしているので、ぜひ多くの支部の参加をお願いしたい。（3月10日〆切で参加支部を募集中）

●自然保護室（田尻）

2021年度も「ナベツル・マナツルの全国飛来状況調査」を行うため、観察や記録への協力をお願いしたい。

環境影響評価法施行令の一部改正により、風力発電事業の法アセス対象規模要件が緩和されたため、風力発電事業が条例アセスの対象になっていない都府県では対象となるように、また条例アセスの対象事業になっている各都道府県についても、規模要件を引き上げないように、各自治体等への働きかけをお願いしたい。（野鳥2021年11・12月号参照）

eBirdについては今度、探鳥会等で参加者に案内できるようなチラシやカードの作成も考えているので活用をお願いしたい。

<その他>

●eBirdに関連した野鳥データベースの活用方法や、各支部での支部報の編集方法についての話題があがり、議論は次回に持ち越された。

●次回のブロック会議は、愛媛が担当しオンライン開催となる予定であること、ブロック交流会については、開催できる状況となったら鳥取県支部が担当して再開することを確認した。

●閉会后、そのままZoomを繋ぎ、有志によるフリートークの場が設けられた。

(普及室/堀本 理華)

◆事務局からのお知らせなど

■総務室より

■会員数

3月1日時点の会員数は33,482人で、先月と比べ8人増加しました。

2月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より9人多くなっています。

2月1日付の入会者数は136人で、前年同月の入会者数176人と比べ40人減少しました。

また、2月末日付の退会者数は127人で、前年同月の退会者数156人と比べ29人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 2月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	9人	2人
総合会員(おおぞら会員)	37人	26人
本部型会員(青い鳥会員)	20人	34人
支部型会員(赤い鳥会員)	50人	41人
家族会員	20人	24人
合計	136人	127人
年度累計	1,904人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(3月1日時点)

都道府県	会員数	前月比

北海道	1,623人	3人
青森県	232人	-1人
岩手県	346人	1人
宮城県	511人	-1人
秋田県	252人	0人
山形県	219人	1人
福島県	532人	-2人
茨城県	808人	0人
栃木県	732人	3人
群馬県	594人	2人
埼玉県	1,976人	4人
千葉県	1,483人	5人
東京都	4,610人	3人
神奈川県	3,142人	-3人
新潟県	366人	3人
富山県	193人	0人
石川県	271人	-3人
福井県	211人	0人
山梨県	250人	1人
長野県	828人	-1人
岐阜県	466人	3人
静岡県	1,219人	-5人
愛知県	1,553人	6人
三重県	433人	0人
滋賀県	299人	0人
京都府	802人	4人
大阪府	1,897人	-12人
兵庫県	1,258人	1人
奈良県	482人	4人
和歌山県	209人	3人
鳥取県	218人	0人
島根県	201人	1人
岡山県	533人	-2人
広島県	571人	1人
山口県	331人	-3人
徳島県	307人	0人
香川県	186人	0人
愛媛県	338人	1人
高知県	112人	0人
福岡県	1,214人	-7人
佐賀県	196人	2人
長崎県	211人	1人
熊本県	358人	-6人
大分県	215人	-2人
宮崎県	240人	-1人
鹿児島県	327人	2人
沖縄県	85人	0人
海外	9人	0人
不明	33人	2人
全国	33,482人	8人

備考: 不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数(3月1日時点)

支部	会員数	前月比
オホーツク支部	246人	-2人
根室支部	77人	1人
釧路支部	141人	0人

十勝支部	168 人	1 人
旭川支部	78 人	0 人
滝川支部	41 人	0 人
道北支部	26 人	0 人
江別支部	22 人	0 人
札幌支部	293 人	1 人
小樽支部	58 人	0 人
苫小牧支部	157 人	0 人
室蘭支部	129 人	1 人
道南檜山	64 人	0 人
青森県支部	115 人	1 人
弘前支部	114 人	-1 人
秋田県支部	241 人	1 人
山形県支部	197 人	4 人
宮古支部	73 人	0 人
もりおか	152 人	1 人
北上支部	95 人	1 人
宮城県支部	481 人	-1 人
ふくしま	138 人	-1 人
郡山支部	148 人	0 人
白河支部	26 人	0 人
会津支部	56 人	0 人
奥会津連合	6 人	0 人
いわき支部	88 人	0 人
福島県相双支部	16 人	0 人
南相馬	15 人	0 人
茨城県	720 人	-1 人
栃木県支部	702 人	7 人
群馬	515 人	2 人
吾妻	44 人	0 人
埼玉	1,469 人	3 人
千葉県	896 人	4 人
東京	2,592 人	15 人
奥多摩支部	753 人	-3 人
神奈川支部	2,094 人	-2 人
新潟県	274 人	5 人
佐渡支部	35 人	0 人
富山	173 人	0 人
石川	248 人	-3 人
福井県	205 人	0 人
長野支部	409 人	2 人
軽井沢支部	166 人	-1 人
諏訪支部	225 人	-2 人
木曾支部	20 人	0 人
伊那谷支部	69 人	0 人
甲府支部	181 人	0 人
富士山麓支部	53 人	0 人
東富士	64 人	0 人
沼津支部	139 人	0 人
南富士支部	225 人	-3 人
南伊豆	39 人	0 人
静岡支部	318 人	1 人
遠江	366 人	-2 人
愛知県支部	1,154 人	0 人
岐阜	451 人	1 人
三重	371 人	-2 人
奈良支部	418 人	5 人

和歌山県支部	217 人	3 人
滋賀	296 人	1 人
京都支部	738 人	-4 人
大阪支部	1,752 人	-10 人
ひょうご	964 人	3 人
鳥取県支部	231 人	0 人
島根県支部	193 人	1 人
岡山県支部	506 人	-3 人
広島県支部	492 人	2 人
山口県支部	306 人	-1 人
香川県支部	148 人	2 人
徳島県支部	330 人	1 人
高知支部	101 人	0 人
愛媛	312 人	1 人
北九州支部	251 人	-3 人
福岡支部	533 人	-3 人
筑豊支部	222 人	0 人
筑後支部	159 人	-1 人
佐賀県支部	241 人	3 人
長崎県支部	201 人	-1 人
熊本県支部	347 人	-4 人
大分県支部	203 人	-2 人
宮崎県支部	230 人	-2 人
かごしま県支部	309 人	2 人
やんばる支部	53 人	0 人
西表支部	44 人	0 人
	28,228 人	18 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦 岳志）

■令和 4(2022)年度連携団体全国総会の開催について

令和 4(2022)年度連携団体全国総会についてお知らせします。

令和 4(2022)年度は、令和 3(2021)年度に引続き、オンラインでの開催とさせていただきます。

詳細は、改めてご案内させていただきます。まずは、ご予定くださるようお願いいたします。

【開催日】：令和 4(2022)年 11 月 13 日（日）

※時間は未定

【開催会場】：公益財団法人日本野鳥の会 西五反田事務所 会議室
（東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル）

【開催形式】：「Zoom」を使用したオンラインでの開催

【出席予定者】：連携団体の代表者等、財団の会長、副会長、評議員、理事、監事、職員が参加予定

（総務室／林山 雅子）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

東北・関東を中心に大きな地震がありました。まだ詳細がわかりませんが、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、3月8日に「支部報とりまとめ便」を発送いたしました。これは、財団事務局に必要部数＝約 80 部＝をお送りいただいている全国各地の支部報をとりまとめ、各支部（事前に「送付不要」のご連絡を頂いている支部を除きます）あてにお送りしているもので、支部間の情報交換のために行っています。今回は各支部報に加え、三重発行「伊勢湾西海岸保護のしおり」と風力発電計画への反対署名協力依頼、甲府支部発行「やまなしの野鳥 2021」、福岡支部発行「野鳥だより ふくおか 500 号突破記念誌」なども同封いたしました。ぜひご覧ください。次回の「とりまとめ便」は7月の予定です。

地震、コロナ、欧州での戦争など、相変わらず落ち着いた日々が続いています。北へ向かって旅立つハクチョウやガンやカモたちに、平和への願いを託さずにはいられません。皆さまもお元気にお過ごしください。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2022年3月号・通巻242号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2022年3月25日

◆担当

総務室 総務管理グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/萩原洋平/原元奈津子
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org
